

# 2018年度 事業報告書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

○ 本書に記載する各種事業の会計区分は以下のとおりです。

実施事業等会計	行政庁が公益に関する事業と認め、公益目的支出計画の対象事業として、公益目的支出計画に記載した事業の会計
その他会計	上記に属さない事業の会計
法人会計	法人の管理業務に係る会計

## 1 児童健全育成組織の強化

### (1) 児童健全育成推進財団の周知（法人会計）

パンフレット、ホームページ等により広報活動の強化をはかった。

### (2) 「児童館連絡協議会」の連携（法人会計）

各自治体において児童館の発展につながる児童館連絡協議会（以下、「県児連」）の活動を支援し、その全国的な連携を促進した。特に「全国児童館連絡協議会（仮称）」の設立に向けて、県児連関係者との協議をおこなった。

なお、輪番制などによりその事務局が移行する際には引き継ぎの補完的情報提供などをおこない、運営面で相談があった県児連に対しては適宜必要な助言をおこない円滑な運営がはかれるよう支援した。

### (3) 理事会（法人会計）

第9回	2018年6月1日（金）
	東京都渋谷区「日本薬学会 長井記念館」
第10回	2019年3月13日（水）
	東京都渋谷区「日本薬学会 長井記念館」

### (4) 評議員会（法人会計）

第9回	2018年6月22日（金）
	東京都渋谷区「日本薬学会 長井記念館」
第10回	2019年3月13日（水）
	東京都渋谷区「日本薬学会 長井記念館」

(5) 会員総会（法人会計）

2018年5月18日（金）
東京都千代田区「御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター」 〔出席者：117名〕

(6) 児童館連絡協議会 全国会議（法人会計）

県児連の会長および事務担当者を招集し、相互の機能強化と連携の促進をはかった。

2018年5月17日（木）
東京都千代田区「御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター」 〔参加県児連数：38 人数：69名〕

(7) 会員制度（法人会計）

児童館・放課後児童クラブ活動の推進・活性化のための会員制度を運営し、会員に対して関係情報の提供等のサービスをおこなった。

	2019年3月末日
組織会員	94
施設会員	2,719
個人会員	572
	3,385

## 2 研修事業

児童館・放課後児童クラブが各地域で健全育成・子育て支援を十分に担うためには、児童厚生員・放課後児童支援員の職員の資質向上が必須条件となる。

豊かな人間性を基盤とした専門的知識と技術を習得する研修を実施し、関係職員の資質とその専門性を高めるため、以下の各種研修事業をおこなった。

(1) 児童厚生員等基礎研修会（実施事業等会計）

児童厚生員等関係職員を対象として、健全育成活動と児童館・放課後児童クラブの役割、子どもの発達理論や遊びの有用性、またはその援助方法などの理論と実技の基礎研修を実施した。

①	東京会場	2018年6月4日（月）～7日（木）（宿泊）
		東京都渋谷区「国立リハビリテーション記念青少年総合センター」〔参加：119名〕
②	神戸会場	2018年9月11日（火）～14日（金）（宿泊）
		神戸市「ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター」 〔参加：114名〕

【後援】 厚生労働省

(2) 中堅児童厚生員等研修会（実施事業等会計）

中堅的立場にある児童厚生員に求められる専門的な知識と指導技術の修得に重点をおきながら、地域や職場での調整役としての資質向上を目指した研修を実施した。

2018年10月9日(火)～12日(金)(宿泊)	
東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」	[参加：67名]
【後援】 厚生労働省	

**(3) 全国児童厚生員等指導者養成研修会（実施事業等会計）**

地域において児童健全育成活動を総合的に発展させる役割を担う、スーパーバイザーの養成を目的とした研修を実施した。

2018年11月28日(水)～30日(金)(宿泊)	
東京都府中市「ホテルコンチネンタル府中」	[参加：23名]
【後援】 厚生労働省	

**(4) 健全育成セミナー（実施事業等会計）**

健全育成活動上で課題となっている時宜に応じたテーマを選定して研修会を実施した。

テーマ 「改正児童館ガイドラインとこれからの児童館のあり方」

2018年5月18日(金)	
東京都千代田区「御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター」	[参加：255名]
【後援】 厚生労働省	

**(5) 地方分散型児童厚生員等基礎研修事業（実施事業等会計）**

各都道府県・指定都市において県児連等の関係団体とともに、育成財団が定める研修体系に準ずる児童厚生員等基礎研修を実施した。また、児童館連絡協議会が主催する研修会を後援し、児童厚生二級指導員資格取得のための単位を認定した。

<p>実施都道府県</p> <p>北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・茨城県・群馬県・埼玉県・千葉県・新潟県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・大阪府・兵庫県・和歌山県・名古屋市・京都市・鳥取県・岡山県・広島県・広島市・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・北九州市・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・沖縄県</p> <p>[延べ回数：295回(科目) / 延べ受講者数：18,216名]</p>
---

**(6) 児童厚生一級特別セミナー（実施事業等会計）**

児童健全育成指導士の養成ステップとして、現場での実践力や時事課題への対応力を重視する内容で実施した。

2018年12月16日(土)、17日(日)	
東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」	[実践報告者：13名 聴講：52名]
【対象】 (実践報告者)「児童厚生一級指導員」有資格者	

**(7) 全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー（その他会計）**

社会的問題である児童虐待やいじめの発生予防と早期発見、地域の子育て支援、子どもの主体性を尊重した活動の支援などの取り組みを進め、地域で子どもの健全育成や成長・

発達を支えていくことができる人材の育成と専門性の向上を図ることを目的として実施した。(厚生労働省委託事業)

2019年2月2日(土)、3日(日)
東京都江東区「東京ビッグサイト」 [参加: 345名]

(8) 第16回全国児童館・児童クラブふくい大会(実施事業等会計)

全国の児童館・放課後児童クラブや子ども・子育て支援等の関係者が一堂に会し、子どもの育ちや子育ての現状を共有するとともに、児童の健全育成の推進に資する人的ネットワークの構築を目的に開催した。

2018年11月10日(土)、11日(日)
福井県福井市「ユーアイふくい、県中小企業産業大学校」 [参加: 750名]

【共催】 全国児童厚生員研究協議会

(9) 東京都児童館等職員研修の運営等業務(その他会計)

①児童厚生員等基礎研修

主に児童館に従事して3年未満の職員を対象として、健全育成活動と児童館・放課後児童クラブの役割、子どもの発達理論や遊びの有用性、またはその援助方法などの理論と実技の基礎研修を2クール実施した。3日目、4日目はクールごとに2コース、救急法はクールごとに5回実施した。

第1クール	2018年 7/13, 14 9/18, 19, 20, 21 他救急法5回
	東京都渋谷区「国立リハビリテーション青少年総合センター」 [参加: 99名]
第2クール	2018年 9/25, 26 10/3, 4 11/13, 14 他救急法5回
	東京都府中市「ルミエール府中」 [参加: 92名]

②中堅児童厚生員等テーマ別研修

主に児童館等に3年以上従事した者を対象として、今、必要とされるテーマに特化した研修を6回開催した。

第1回 保護者対応	2018年7月4日(水)
	東京都江東区「東京ビッグサイト」 [参加: 54名]
第2回 貧困・虐待対応	2018年9月11日(火)
	東京都荒川区「日暮里サニーホール」 [参加: 69名]
第3回 危機管理	2018年10月16日(火)
	東京都新宿区「ワイルド会議室高田馬場」 [参加: 64名]
第4回 中・高校生世代	2018年10月30日(火)
	東京都大田区「大田区産業プラザPIO」 [参加: 90名]
第5回 コミュニティワーク	2018年12月6日(木)
	東京都千代田区「ワイルド会議室お茶の水」 [参加: 60名]
第6回 職場のチーム力	2019年1月25日(金)
	東京都府中市「ルミエール府中」 [参加: 54名]

### ③リーダー研修

主に児童館長や児童館運営法人責任者等を対象として、最新の関係法令・制度の情報や事例、活動をしていく上での課題等を取り上げ、児童館等の役割や機能について改めて確認し、もって児童館長・責任者等としての資質の向上を図ることを目的として実施した。

2019年2月22日(金)	
東京都千代田区「上智大学」	[参加：143名]

## (10) 改正児童館ガイドライン普及キャンペーン(実施事業等会計)

### ①改正児童館ガイドライン普及講師養成セミナー

児童館ガイドラインの改正にあたって、その背景、改正概要等を自治体担当者、児童館連絡協議会事務局、児童厚生員等基礎研修会講師、児童厚生員養成課程担当教員等を対象にレクチャーし、各自治体・学校等での普及を図ることを目的に実施した。

2018年10月12日(金) 13時50分～16時30分	
東京都渋谷区「国立リハビリテーション青少年総合センター」研修室501	[参加：95名]

### ②改正児童館ガイドライン説明会

各地で、児童館職員や自治体担当者を対象に、児童館ガイドラインの改正点等について解説する説明会を開催した。

#### ○北海道・東北ブロック

日程：2019年2月24日(日)

会場：仙台市戦災復興記念館

概要：第3回 ひと☆まち 児童館フォーラム in 仙台と連携して開催した

参加：270名

協力：公益財団法人仙台ひと・まち交流財団

#### ○関東・甲信越ブロック

「全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー」「東京都児童館等職員研修 リーダー研修」(再掲)と連動して実施した。

#### ○東海・近畿・北陸ブロック

日程：2019年3月5日(火)

会場：京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)

共催：公益社団法人京都市児童館学童連盟

参加：139名

#### ○中国・四国・九州ブロック

日程：2019年2月18日(月)

会場：福岡市立中央児童会館

共催：福岡市立中央児童会館  
 協力：FUKUOKA じどうかんネットワーク  
 参加：70名

### 3 認定児童厚生員資格制度

#### (1) 児童厚生員現任者の資格認定（法人会計）

研修体系に準拠した科目を修了した者に、児童厚生二級指導員、児童厚生一級指導員、児童厚生一級特別指導員、児童健全育成指導士の4種類の資格を認定した。

【現任者資格取得者】

	2019年3月末	2018年3月末	増数
児童健全育成指導士	24	20	4
児童厚生一級特別指導員	47	41	6
児童厚生一級指導員	2,481	2,423	58
児童厚生二級指導員	20,226	19,138	1,088
総数	22,778	21,622	1,156

#### (2) 児童厚生員養成校での資格認定（実施事業等会計）

別紙（13ページ参照）のとおり、44校44学科を児童厚生員養成課程として認定し、児童厚生員資格の普及に努めた。

【資格取得卒業者数】

	2019年3月末	2018年3月末	増数
児童厚生一級指導員	918	860	58
児童厚生二級指導員	15,665	15,093	572
総数	16,583	15,953	630

### 4 児童文化・児童健全育成プログラムの支援

#### (1) 児童福祉文化賞表彰式および発表会の開催（実施事業等会計）

児童福祉文化の振興を図るため、厚生労働省社会保障審議会が推薦した作品の中から「特に優れた児童福祉文化財」に対して厚生労働大臣表彰をおこない、併せて受賞作品を披露する発表会をおこなった。

表彰式	2018年5月7日（月）
	厚生労働省 会議室

発表会	2018年5月4日（金・祝）
	東京都品川区「きゅりあん 小ホール」 上演作品『コメディ クラウンサーカス』 劇団名：プレジャーB

【共 催】 公益財団法人児童育成協会

【後 援】 厚生労働省／社会福祉法人全国社会福祉協議会／

社会福祉法人日本保育協会／社会福祉法人東京都社会福祉協議会

(2) 「音楽を届けて子どもたちを育む」 Dream Passportプロジェクト（法人会計）

アサヒ飲料株式会社設置自動販売機の売り上げを基にした楽器寄贈プロジェクトを実施した（寄贈7ヶ所）。

(3) 子どものための児童館とNPOの協働事業（法人会計）

一般財団法人住友生命福祉文化財団が協賛し、児童館と地域のNPOが協働して、子どもたちが地域課題に触れる機会を提供する同事業に協力した。

（主催：認定特定非営利活動法人日本NPOセンター、助成18団体）

(4) JUMP-JAMプロジェクト（その他会計）

米国NIKE Inc. ならびにナイキジャパングループ合同会社とのパートナーシップにより、東京都内の児童館35館を対象に、楽しみながら身体を動かす遊びを開発し、子どもの体力増進・社会的スキルの向上を目指し実施した。また、職員研修や広報をおこなった。

【助 成】 Give2Asia (NIKE Social Community Impact)

(5) 野遊びプログラム実践研究会（実施事業等会計）

児童厚生員等関係職員を対象として、子どもや大人が地域の中で気軽に身近な自然にふれたり、野外での遊びに親しむきっかけをつくるためのプログラム開発等を実施した。

2018年10月29日（月）～31日（水）
新潟県高柳町「新潟県立こども自然王国」 <span style="float: right;">〔参加者：20名〕</span>

(6) みんなのコミュニケーション応援プロジェクト（その他会計）

児童館が実施する豊かなコミュニケーション（親子、異年齢児童、多文化、多世代等）を生み出す事業に助成した。（11か所）

【寄付】 株式会社セブン銀行

(7) 創作童話・絵本・デジタル絵本コンテスト（法人会計）

特定非営利活動法人キッズエクスプレス21実行委員会が実施する同コンテストに後援し、創作童話部門の優秀作品1編に対し、育成財団賞を贈った。

## 5 地域活動の支援

### (実施事業等会計)

地域児童の健全育成を目的として、児童館等と連携しながら児童の健全育成活動を中心に活動するボランティア組織「母親クラブ」の都道府県組織を対象に支援をおこなった。

児童図書配布、ブロック会長会議、全国会長会議、全国大会の開催・運営支援、職員派遣などの支援をおこない、「地域組織活動指導者全国大会」を共催した。

2019年2月21日(木)～22日(金)	
宮城県仙台市「江陽グランドホテル」	[参加：2日間計 289名]

【共催】 厚生労働省／全国地域活動連絡協議会

【後援】 東京都／公益財団法人児童育成協会

## 6 広報・出版・情報発信

### (1) ホームページ・SNS (法人会計)

財団ホームページ <https://www.jidoukan.or.jp/> ならびに情報提供サイト「コドモネクスト」(<http://www.kodomo-next.jp/>) の内容を充実し、児童健全育成関連情報を広く発信した。又、公式 Facebook ページ (<http://www.facebook.com/fpsgc>)、公式 twitter (<http://twitter.com/fpsgc>) を活用し、情報提供をおこなった。

### (2) 情報誌の発行 (法人会計)

情報誌『じどうかん』(A4判・16頁・7,000部) を年4回編集・発行し、会員児童館および関係機関へ配布した。

### (3) 健全育成活動啓発資料の制作 (法人会計)

児童館や育成財団の関連情報を一般に啓発する資料 [FACTBOOK] を制作し、報道機関・関係機関等に提供した。

## 7 児童館・放課後児童クラブの施設と職員の支援

### (1) 共済制度 (その他会計)

児童館・放課後児童クラブが安心して健全育成活動を展開するために、利用者や登録児童の活動中の事故等に対応した共済制度と、職員に対する共済制度を推進した。



①児童館向け共済

	2019年3月末			2018年3月末		
	契約者数	施設数	被保険者数	契約者数	施設数	被保険者数
児童安全共済	1,096	3,246	36,921,864	1,077	3,191	36,646,212
児童厚生員共済	142	239	1,052	137	239	1,006

②児童クラブ向け共済

	2019年3月末			2018年3月末		
	契約者数	施設数	被保険者数	契約者数	施設数	被保険者数
児童クラブ共済	1,194	2,159	96,414	1,157	2,017	88,697
児童クラブ支援員共済	800	1,065	5,100	786	1,027	4,790

(2)児童健全育成活動の功労者顕彰事業（法人会計）

児童健全育成活動の推進や児童館の発展に関して、各地域において尽力された健全育成関係者を表彰し、その功績を讃えた。表彰式は会員総会の席上にておこなった。

団体の部	該当無
個人の部	60名

【対象】 本財団加盟団体（県児連）および会員施設関係職員

(3)児童健全育成賞（数納賞）（実施事業等会計）

児童健全育成活動に関する実践報告を募集し、応募されたものの中から審査委員会での審査の結果、優れた報告を選出し褒賞した。

【児童健全育成賞（数納賞）佳作3編】

大型児童館における遊びのプログラムの開発と普及	香川県高松市 さぬきこどもの国 企画・シアターグループリーダー 加地 裕子 氏
誰もが主役になれる児童館をめざして —マイスクール児童館のとりのくみ—	宮城県仙台市 仙台市立町マイスクール児童館 館長 小泉 節子 氏
お母さんの『こうだったらいいのにな』を 叶える—特定非営利活動法人 iitoko の活動—	群馬県高崎市 特定非営利活動法人 iitoko スタッフ 嘉部 真澄 氏

【児童健全育成賞（数納賞）奨励賞1編】

障害を持つ子のためのヘアカット 「スマイルカット」	京都府京都市 特定非営利活動法人そらいろプロジェクト京都 理事長 赤松 隆慈 氏
------------------------------	--

【後援】 厚生労働省

## 8 調査研究事業

(1)健全育成研究助成（法人会計）

児童館のエビデンスの検証等、児童健全育成活動の意義・価値の論拠に資する研究に対し、

助成をおこなった。

目録の贈呈をおこない、併せて第3回研究助成の研究成果の発表を実施した。

【対象】大学・公的研究機関で、研究に従事する者

2018年5月18日（金）
東京都千代田区「御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター」

【第3回健全育成研究助成 研究成果発表】

「児童厚生員における保護者支援の意識に関する研究」	中村学園大学短期大学部 講師 牛島 豊広 氏
---------------------------	---------------------------

【第4回健全育成研究助成 目録贈呈】

◎一般助成

「社会福祉協議会が運営する児童館の実態と強みに関する研究」	立正大学 子ども教育福祉学科 講師 藤高 直之 氏
-------------------------------	------------------------------

◎養成校

「児童厚生員の質的向上に向けた研究 ～児童厚生一級指導員養成校における 児童館実習プログラムの検証～」	新潟医療福祉大学 社会福祉学科 助手 荒川 大靖 氏
---	-------------------------------

## (2) 児童館等における遊びのプログラム等の全国的な普及を図るための調査研究（その他会計）

大型児童館（7館）が提案し、企画検討委員会で選定した優れた21の「遊びのプログラム」を地域の小型児童館と共に改良し、実践を行った。また、実践交流会「児童館・遊びのマルシェ」を開催し、広域の児童健全育成関係者にそのプログラムを普及させるとともに、そのノウハウを集約した「児童館等における遊びのプログラム実践マニュアル」を作成した。

◎遊びのマルシェ

2019年2月3日（日） 13時～17時
東京都江東区「東京ビッグサイト レセプションホールA」 [参加者：407名]

【委託】 厚生労働省

## (3) 調査研究への協力（法人会計）

大学等が実施した児童館等に関する調査研究に役職員を委員等として派遣した。

- ・児童館等における「遊びのプログラム」の効果の検証・分析に関する調査研究（実施主体：早稲田大学）
- ・「改正児童館ガイドライン（仮称）」の理解を促すための調査研究（実施主体：みずほ情報総研株式会社）

# 9 関係団体の協力・連携

## (1) 民間児童館ネットワーク（実施事業等会計）

全国の民間児童館（社会福祉法人立等）の児童健全育成活動や、児童館活動に関する情報

交換や連携を深めるためのネットワークを支援するとともに、民間児童館独自の課題に対する研修会を実施した。

総会、研修会、情報交換の場の開催・運営支援のほか、地方ブロックごとに開催される研修会の運営支援、職員派遣をおこなった。

○役員会・定期総会

2018年6月26日（火）
東京都千代田区 「都市センターホテル」

〔参加：32名〕

(2) 全国児童厚生員研究協議会（法人会計）

全国の児童館・児童クラブ職員等の研究協議と情報交換によるネットワークによって、資質向上と専門性の確立を目指す職能団体の事務局を担った。また、全国大会の開催や被災地支援事業で協働した。

(3) 児童厚生員養成課程連絡協議会（実施事業等会計）

児童厚生員養成課程の一層の充実を目指して、各学校（児童厚生員養成校）への情報提供など、連絡組織の活動を支援した。

○2018年度 第22回児童厚生員養成課程連絡協議会・教育研究会

2018年6月29日（金）
東京都千代田区 「アルカディア私学会館」

(4) 健やか親子21推進協議会（法人会計）

母子保健に関する主要課題についての取組の効果的な調整・推進を目的とした「健やか親子21（第2次）」に参加・協力した。

(5) 児童虐待防止対策協議会（法人会計）

児童虐待に関係する府省庁等及び関係団体が一堂に会し、取組状況について情報交換するとともに、関係団体等との連携強化やさらなる対策の充実を図るための方策を検討することを目的とした協議会に参加・協力した。

(6) 「社会を明るくする運動」中央推進委員会（法人会計）

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」の中央推進委員会の構成団体として参加・協力した。

(7) 「広がれボランティアの輪」連絡会議（法人会計）

あらゆる国民が「いつでも、どこでも、誰でも、楽しく」ボランティア・市民活動に参加できるような環境づくり、気運づくりを図る目的で、全国的なボランティア・市民活動推進団体等で構成している連絡会議の幹事として参画した。

## 10 その他

### (1) 災害時の児童館支援の実施（法人会計）

2018年7月に発生した西日本豪雨災害により、特に深刻な被害のあった京都府、岡山県、広島県、愛媛県の児童館に対して企業・団体からの寄付金、助成金を活用し、支援活動をおこなった。

【助成】 Give2Asia (Qualcomm Foundation、Give2Asia Disaster Fund)

### (2) 講師派遣・コンサルテーション（法人会計）

地方自治体や各児童館連絡協議会等関係団体の要請により、健全育成関係の研修や講演、自治体の政策に関する助言・協力、児童館・放課後児童クラブの運営助言をおこなった。

【講師派遣の件数（延べ数）】

児童館連絡協議会	21件
地方公共団体	10件
関係団体他	14件

### (3) 児童福祉施設 第三者評価事業（法人会計）

児童福祉施設の事業内容の質の向上と、利用者への情報提供を目的として、第三者評価事業を実施した。（東京都福祉サービス第三者評価機関／機構 12-215）

認可保育所	1件	（東京都）
認証保育所	1件	（東京都）
児童館	18件	（京都市）

### (4) 委員派遣等（法人会計）

児童館をはじめとする子ども・子育てに関連する審議会、委員会や各種団体、ネットワーク組織に委員等として役職員を派遣した。

- ・えひめこどもの城魅力向上検討委員会（愛媛県）
  - ・「デジタル活用共生社会実現会議」ICT地域コミュニティ創造部会（総務省・厚生労働省）
- 他、選考委員会等

2018年度 児童厚生員養成校(養成課程認定学科)一覧表

学校数	学科数	都道府県	学校名	学科名	資格(級)
1	1	北海道	せいとく介護こども福祉専門学校	こども福祉科	2
2	2		藤女子大学	保育学科	1
3	3	青森県	青森明の星短期大学	子ども学科(幼児保育専攻)	2
4	4	岩手県	盛岡大学短期大学部	幼児教育科	2
5	5		盛岡医療福祉専門学校	こども未来学科	2
6	6	宮城県	仙台幼児保育専門学校	幼児保育科	2
7	7	栃木県	宇都宮共和大学	子ども生活学科	1
8	8	群馬県	大泉保育福祉専門学校	保育科 1部	2
9	9	埼玉県	秋草学園短期大学	地域保育学科	2
10	10	東京都	町田福祉保育専門学校	こども保育学科	2
11	11		立教女学院短期大学	専攻科幼児教育科(専攻)	2
12	12		昭和女子大学	初等教育学科	2
13	13		上智社会福祉専門学校	保育士科	2
14	14		東京YMCA社会体育・保育専門学校	保育科	2
15	15		東京立正短期大学	現代コミュニケーション学科	2
16	16		草苑保育専門学校	幼稚園教員・保育士養成科	2
17	17		神奈川県	鎌倉女子大学	児童学部児童学科
18	18	鎌倉女子大学短期大学部		初等教育学科	2
19	19	小田原短期大学		保育学科	2
20	20	新潟県	国際こども・福祉カレッジ	こども保育学科	2
21	21		新潟医療福祉大学	社会福祉学科	1
22	22	福井県	仁愛大学	子ども教育学科	1
23	23	山梨県	帝京学園短期大学	保育科	2
24	24	長野県	清泉女学院短期大学	幼児教育科	2
25	25	岐阜県	中部学院大学短期大学部	幼児教育学科	2
26	26	静岡県	常葉大学短期大学部	保育科	2
27	27	三重県	ユマニテク短期大学	幼児保育学科	2
28	28	京都府	京都造形芸術大学	こども芸術学科	1
29	29	大阪府	大阪健康福祉短期大学	子ども福祉学科	2
30	30		大阪教育福祉専門学校	幼児教育科第1部児童体育コース	2
31	31		大阪千代田短期大学	幼児教育科	2
32	32		大阪人間科学大学	子ども福祉学科	1
33	33		梅花女子大学	こども学科	2
34	34	兵庫県	聖和短期大学	保育科	2
35	35		兵庫大学	こども福祉学科	1
36	36	奈良県	奈良佐保短期大学	地域こども学科	2
37	37	岡山県	中国学園大学	子ども学科	1
38	38	山口県	宇部フロンティア大学短期大学部	保育学科	2
39	39	香川県	香川短期大学	子ども学科第I部 / 第III部	2
40	40	愛媛県	今治明德短期大学	幼児教育学科	2
41	41		松山東雲短期大学	保育科	2
42	42	福岡県	西日本短期大学	保育学科	2
43	43		久留米大学	総合子ども学科	1
44	44	沖縄県	沖縄女子短期大学	児童教育学科 / 第二部	2